

令和3年度第1回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時・場 所	令和3年8月26日（木）午前10時～ 多度地区市民センター3階305会議室
出 席 者	委員：6名 事務局：11名
議 事 次 第	1. 開会挨拶 2. 議事 (1) 令和2年度上下水道事業決算の見通しについて (2) 水道料金の改定について (3) その他 3. 閉会挨拶
要 旨	<p>1. 開会挨拶 開会后、上下水道部長より挨拶</p> <p>2 (1) 令和2年度上下水道事業決算の見通しについて 事務局より水道事業会計の見通しについて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有収率について、類似団体の数字と桑名市と比較して高いのか低いのか教えてほしい。 ⇒令和元年度の決算の数字ですが、類似団体平均が89.11%で、桑名市は類似団体平均より低くなっている。 ・類似団体との有収率の差について、この背景について教えてください。 ⇒やはり、老朽化管路が多いということで、漏水によるものがほぼ大半であると考えている。 ・管路経年化率ですが、老朽化が進んでいるということで、値上げもされたが、それによって管路更新のスピードはどれくらい上がっているのか。 ⇒管路更新率は1%に満たないのが現状である。令和2年度の更新率は1.58%となっているが、下水道事業の影響範囲の水道管更新があったため、通常工事としては、事業量としては変わらない状況である。 ・管路の更新率は経営戦略どおり進んでいるのか、それとも遅れているのか。 ⇒経営戦略では約1%程度の更新を目標としていますが、実績としては0.7%超である。 ・企業債の借入の平均期間はどれくらいか。 ⇒5年据え置きの40年償還となっている。 ・老朽化が激しくなってきた、生活インフラを維持することが厳しい状況がいろいろな所でもでてきており、桑名市も例外ではない。単に料金だけで比較すると住民に負担を掛けてしまうので、老朽化や料金体系の問題とかを議論を重ねていきたい。 ・管路更新のスピードアップを図っていく方策は。 ⇒公民連携手法や先進事例等も取り入れながら検討している。

事務局より下水道事業会計の決算の見通しについて説明

・営業収支比率について、100%未満であれば営業損失が生じているということだが、70.62%というのはどう評価されているのか。

⇒下水道普及率を高めるために、投資が先行しているためであり、単年度収益的収支はプラスになっている。

・有収率が令和元年度と比べて改善しているが、これは例年の波の中で起こりうる変化なのか、それとも理由のある改善なのか教えてほしい。

⇒毎年、雨水が流入しやすいコンクリート管を整備されている地区において内面調査を行い、管が破損しているかの調査をし、破損個所を見つけると修繕を行っていることにより、有収率の改善に若干寄与していると考えている。

・水洗化率95%について、下水は通っているけど5%は下水道に繋いでいないということか。

⇒はい。汚水処理区域内の人口に対して、下水道を接続されている人口であり、5%の方は未接続になっている。

(2) 水道料金の改定について

事務局より、水道料金の改定について説明

・検討していく中で、個人ベースと事業系ベース、双方を把握していきたい。

・老朽化について、文章だけではイメージが湧かないので、現場の写真などを掲載して、このような状態ですと視覚的に訴える資料作成をお願いしたい。

・市民の方々に分かりやすい資料の作成をお願いしたい。

・料金改定のお知らせは、説明期間を長くにとってほしい。

・管路更新の計画と実際の差についての要因は何だったのか、可視化できる形での資料提供をしてほしい。

・料金改定表に加えて、例えば4人家族ご夫婦とお子様2人や単身高齢世帯だといくらなどを示してもらえると、分かりやすく検討がしやすいと思う。

(3) その他

事務局より、今後の審議会の予定について連絡

3. 閉会挨拶

上下水道部長より挨拶

(以上)